## 神奈川県モデル事業 福祉避難所開設訓練を実施して

1月23日、神奈川県地域福祉課、三浦市福祉課及び公益財団法人市民防災研究所の支援を受け、美山ホームにおいて福祉避難所開設・運営訓練を実施しました。

実施日二日前の早朝に三浦市で震度6弱の地震が発生したとの想定で夜勤職員がBCPに沿った初動活動を展開。在宅職員の緊急呼集、施設入居者の安否確認、建物の安全性とライフラインのチェックへと続きました。


夜勤職員による初動対応訓練

そして発災から二日が経ち、学校の体育館で避難を続けることが困難な市民がいると把握した三浦市が施設に対し福祉避難所の開設を要請。

この要請を受け施設の地域交流室を福祉避難所として活用するための必要機材の設営を行い、避難者を受け入れるための受付を設置。館内の案内表示や避難所ルールの貼り付け、居住スペース確保のためのベッドの移動、間仕切りの設置、非常用簡易トイレの組み立てなどを実施しました。


室内テントとダンボールベッドの設営

さらに近隣の特別養護老人ホームケアホーム三浦との連携の中で、施設間の利用者受け入れ訓練も行いました。


避難者受け入れ訓練

今回の訓練を通じて、備蓄物資の更なる充実と職員の災害対応力の維持が今後の課題であると感じるとともに、地元自治体や地域の他施設との連携の大切さについても再確認することができました。

今後も今回の訓練結果を踏まえ、引き続き災害に強い地域づくりを進めてまいります。（施設長　濱岡）

## 社会福祉法人として担う次世代支援と現場の役割

美山ホームでは、中高生や大学生の実習生の受け入れを積極的に行っております。

実習生にとって、実際の業務を体験することは貴重な経験です。

利用者様とのふれあいや職員との関わりを通して、介護のやりがいや責任、そして「人を支える仕事」の本質を感じてもらえるように、職員一同、丁寧に指導しています。

実習生との交流は、利用者様にとっても良い刺激となっています。若い世代との会話やふれあいを楽しみにされる方も多く、笑顔が増え、普段よりもいきいきとした表情を見せて下さる場面も見られます。「元気をもらえる」「話を聞いてもらえてうれしい」といった声もあり、実習生の存在が施設内に明るい雰囲気をもたらしています。









また、実習生の受け入れは、私たち職員にとっても日々のケアを振り返る良い機会となり、施設全体の活性化やサービスの質の向上につながっています。

今後も、実習生が安心して学べる環境づくりに努め、利用者様・地域の皆様にご協力いただきながら、開かれた施設を目指してまいります。（守本）